

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		校舎等施設修繕事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島正剛
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 戸 裕介
	基本事業	66	教育施設の整備		所属班	総務施設班	(内線) 2226
法令根拠							

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
	1	10	2	3	10720			コスト削減優先度評価結果	1

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 不明 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 学校施設の維持向上のための工事を行う。

【業務の流れ】
 設計業者を決定し、学校の要望を確認しながら実施設計を完了し、入札や見積もり競争により施工業者を決定する。

【主な予算費目】
 委託料、工事請負費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同様
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 市内10校の修繕等の工事を行った。	
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 件 → アイ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内小中学校の施設、施設利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 校 → アイ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な状態に復旧する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 校 → アイ 修理を行なった学校の復旧割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	適切な教育環境になる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → アイ 新耐震基準を満たした学校施設の割合 % → アイ 整備計画に基づく整備率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	209,196	86,564	50,130	58,492	186,615	155,545	124,043	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	568,300	138,000	164,100	119,500	325,600	501,400	489,800	
		その他	千円	0	111,261	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	25,000	0	0	
		一般財源	千円	335,443	50,625	71,155	22,485	11,671	26,749	25,977	
	(A) 事業費計		千円	1,112,939	386,450	285,385	200,477	548,886	683,694	639,820	
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	4	4	4	4	
延べ業務時間		時間		3,000	3,000	3,900	3,900	3,900	3,900		
(B)人件費計		千円	0	11,940	11,940	15,522	15,522	15,522	15,522		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,112,939	398,390	297,325	215,999	564,408	699,216	655,342	0	

活動指標	件	18	27	10	10	35	30	25	目 標 数 計 画 22 年 度
対象指標	校	10	10	10	10	10	10	10	
成果指標	校	6	9	7	7	10	10	10	
	%	100	100	100	100	100	100	100	
上位成果指標	%	73.7	92.8	78.1	92.1	95.5	98.5	90.6	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 毎年不具合のある学校施設の復旧を行なっているもので、当然必要なものである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 特別な変化はない

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特別にはない

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 健全な建物となることにより、生徒達が安心して学校生活がおくれる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が学校設置者であるため
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図ともに妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 危険な状態での学校運営となってしまう、安全面の確保ができなくなり、設置者としての義務が履行できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に方法がなく妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小の人員で対応しているため、余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策				
-----------------------------------	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)